

介護職の健康・ストレスの管理

担当講師名

沖縄県介護福祉士会

講師 **仲宗根 哲也**

研修領域	実施期日	会場
運営管理基礎領域	令和8年4月18日(土)	沖縄県総合福祉センター西棟3階第1会議室

到達目標

- ①適正な人事・労務・健康管理に関する知識をもち、小規模チームのまとめ役として、管理職を補佐することができる。
- ②自分自身や後輩などに心身面の問題が発生した場合、小規模チームのまとめ役として、適切に対応が出来る。

修了時の評価ポイント

- ①介護職場の基本的な人事・労務管理の法令、規則について説明できる。
- ②介護職の職場における心身の健康管理の留意点・ポイントについて説明できる。
- ③自職場における人事・労務・健康管理の課題とその解決法について分析できる。

テキスト・使用教材等

- ・「介護福祉士ファーストステップ研修」(全社協)・ニュース記事(喫煙・過労死)
- ・ストレスチェック制度について(厚生労働省)
- ・介護の雇用管理改善 CHECK&ACTION25(公益財団法人介護労働安定センター)
- ・雇用管理改善のための業務推進マニュアル改訂版(公益財団法人介護労働安定センター)
- ・介護労働者のストレスに関する調査・介護労働実態調査結果(公益財団法人介護労働安定センター)
- ・DVD ちゃーがんじゅ体操(沖縄県)
- ・労働基準法及び労働安全衛生法等人事労務管理に関する資料
- ・介護現場のためのストレスマネジメント支援テキスト(認知症介護研究・研修仙台センター)
- ・バーンアウトにより退職にいたった職員の事例
- ・バーンアウト尺度(チェックリスト)
- ・うつ病により自殺企図にいたった事例
- ・平成29年度介護福祉士国家試験問題(腰痛予防・ストレスチェック制度)
- ・平成30年度介護福祉士国家試験問題(育児・介護休業法・労働者災害補償保険制度・バーンアウト)

自職場等課題

【事前課題のねらい】

小規模チームのまとめ役として、自分自身のストレス状態のみならず後輩等の心身の健康状態も客観的に把握できるようになる。また自法人・事業所の雇用管理状況における課題を認識し、改善に向けた取り組みの必要性が理解できるようになる。

【事前課題の内容】

- ・「介護の雇用管理改善 CHECK&ACTION25」B: 労務管理・職場環境(P38~50)を読み自法人・事業所の雇用管理状況をチェックする。その後チェックした数字の内容についておのおの200字程度でまとめる(様式の指定なし)。
- ・自分自身のストレスチェック「職業性ストレス簡易調査票(57項目)」を実施する。

【事後課題のねらい】

小規模チームのまとめ役として、管理職を補佐できるとともに、自分自身や後輩などに心身面の問題が発生した場合、適切に対応が出来る仕組み作りを職場内で構築していくことが必要であることを認識する。

【事後課題の内容】

自職場内において5名以上の介護職員にB: 労務管理・職場環境(P38~50)の雇用管理状況をチェックしてもらう。そのさいチェックした理由についても簡単に記載してもらう。その後受講生自身が事前課題でチェックした数字の内容と自職場で記入してもらった5名の介護職員の数字の内容を比較して課題を分析する(約1200字程度)。